

## 令和7年度 市の取組

## 重点施策Ⅰ：担い手の確保・育成

## Point

- ・若い世代に合わせた効果的な手法による建設産業の魅力発信【市、業界】
- ・他分野の学生が参加しやすいイベントやインターンシップの実施【市、業界】
- ・女性や外国人など多様な人材の採用に向けた環境整備【市、業界】

## (1) SNSを活用した建設産業PR

## 【動画①】

- ・札幌市広報アドバイザー（令和9年度まで）に任命されたインフルエンサー三好さんによる除雪事業者へのインタビュー動画が広報課Instagramアカウントへ投稿され、除雪の仕事の魅力を紹介。2月末現在で約10万回閲覧。

## 【動画②】

- ・タイムラプス形式等を用いた道路新設工事現場における建設業PR動画。第1回協議会の議題「効果的な広報」に関する段階的な情報発信として、道路工事状況をまとめ若者の興味を惹けるように約1分のショート動画を作成。

除雪事業者紹介動画  
(インフルエンサー作成)建設産業PR動画  
(札幌市作成)

## (2) 各種現場見学ツアーの実施

名称	時期	参加者数
夏休み親子土木施設見学ツアー	7/31・8/1	29組69名
現場見学会（北海学園大学2年）	—	—
現場見学会（北海道科学大学2年）	10/2	学生34名
現場見学会（札幌工業高校1年）	10/20	学生54名
土木施設めぐり女子ツアー	10/4	学生12名



夏休み親子土木施設見学ツアー

## (3) 各種イベント等へのブース出展

名称	時期	場所	参加者数
JRAイベント「はたらくクルマ大集合」 (R7新規) (札幌市ブース)	5/31	札幌競馬場	約1,100名
環境広場2025 ※除雪事業	7/26・27	大和ハウス プレミストドーム	約1,600名
ジモトのシゴト ワク!WORK! (建設及び除雪ブース)	9/17・18	つどーむ	約240名
ミニさっぽろ2025 ※除雪事業	9/30・10/1	アクセスサッポロ	約730名
さっぽろシゴト博 (R7新規) ※経済観光局主催 (建設及び除雪ブース)	10/31・ 11/1	パークホテル	約740名
建設産業ふれあい展 (道庁と共催) (札幌市ブース)	1/10・11	地下歩行空間	約3,800名

## (4) 学校と連携したPRの実施

- ・札幌商工会議所が実施する中学生を対象とした建設産業の「体験授業」との連携（規模拡大）  
令和6年度：5校686名→令和7年度：9校1066名
- ・小中学校を対象とした「雪と暮らすおはなし発表会」の実施
- ・小学校における「雪体験授業」の実施
- ・真駒内学園新築工事現場において小中学生約400名へ特別授業の実施
- ・「都市局機械設備課出前授業」の実施等 小学校4校700名（別紙5-1参照）

## (5) 各種メディアを活用したPRの実施

- ・札幌市広報番組を活用した建設関連の仕事の紹介【動画③】  
テレビ「さっぽろふるさと再発見」10/18（土）放送  
…土木施設めぐり女子ツアー 10/4（土）実施

## 《参加した学生の感想》

- ・技術者の方に直接話を聞いたり、現場を見ることが出来た
- ・堅苦しくない雰囲気ツアーで良かった

## 《参加した技術者の感想》

- ・学生以外にも、他会社の人との交流が出来て良かった



R7.10.18放送「土木施設めぐり女子ツアー」

## (6) 普通科高校へのインターンシップ促進

- ・北海道教育庁・市教育委員会と連携し、市内の普通高校に建設業のインターンシップへの参加協力依頼。
- ・初年度（R7）は札幌厚別高校から建築工事分野の会社へ3名、土木工事分野の会社へ3名、計6名の高校生がインターンシップへ参加。

## 《参加した学生の感想》

- ・「文系でもこんな活躍ができるかと教えてくれ、建築に本当に大事なものはコミュニケーションなど、驚くことがいっぱいでした。」
- ・「自分で0から1を作る建設という業界はカッコよく、ロマンがある素晴らしい職種だと改めて再確認しました。」
- ・「土木作業に対するイメージがかなり変わりました。」

## &lt;インターン状況写真&gt;



## (7) 外国人受け入れに関するセミナー

- ・特定技能外国人受入セミナーの開催（6/23（月）対面及びオンライン開催）※経済観光局主催

## (8) 女性や他分野からの入職希望者

- ・他業種（特に事務職）への入職を希望する人や普通科高校の学生等に対して、業界未経験者でも現場支援業務等により建設業界で働いており、その労働環境等を紹介したパンフレット（案）を作成。（別紙5-3参照）

## (9) 助成金制度の実施…令和7年度は、新メニュー⑦⑧を加え、8つのメニューの助成を実施

メニュー	助成額	実績（件）		
		R5	R6	R7※3
①女性用トイレ・更衣室設置への助成	1箇所あたり最大50万円	12	8	0
②女性の作業服等の装備品購入に対する助成※1	1人あたり最大3万円	16	24	40
③企業のインターンシップ受入れに対する助成（R7拡充）	1日で4万円	—	—	5
	2日で7万円、3日以上で10万円	25	28	25
④大型特殊免許取得に係る費用の助成	1人あたり最大4万円	19	30	22
⑤サポロQMS認証取得に係る助成	最大25万円	5	15	7
⑥ICT施工導入支援に係る助成	施工に50万円	10	16	16
	研修実施に3万円or6万円 研修参加に3万円 ※2	4	27	3
⑦免許・資格取得に係る助成（R7新設）※1	1人あたり最大5万円	—	—	17
⑧建設DXに係る助成（R7新設）	1企業あたり最大10万円	—	—	0
合計		87	134	135

※1：助成した人数をカウント。

※2：研修会等への参加は参加人数、社内研修等の開催は回数をカウント。

※3：令和7年度の実績は令和8年2月27日時点交付決定済の件数・人数。

## (10) 技術者を対象とした表彰制度の検討

- ・令和7年度、担い手の確保や育成に向けた取り組みの一つとして、技術者を対象とした表彰制度について導入を検討。
- ・建設局土木部では、工事や業務について、業界の技術レベルや意欲の向上、品質確保などを目的として、優秀な成果を収めた企業を毎年度表彰しているが、技術者の確保や育成は喫緊の課題となっていることから、令和8年度の工事や業務を対象に技術者に対する表彰制度を導入する予定。

## 重点施策Ⅱ：働きやすい労働環境の整備

## Point

- ・週休2日の質の向上に向けた対応強化【市、業界】
- ・工事の施工時期及び業務の履行期限に関するさらなる平準化の推進【市、業界】
- ・書類作成の負担軽減に向けた取り組みの推進【市、業界】

## (1) 週休2日工事の発注

- ・土木工事では当初から「月単位の週休2日」の経費補正、完全週休2日（土日）を達成した場合に、経費の増額補正。なお、通期の週休2日は補正の対象外のため補正係数を廃止。更に完全週休2日（土日）達成時の工事成績評定の加点を廃止。
- ・営繕工事は当初「通期の週休2日」の経費補正、達成時に「月単位の週休2日」の経費補正を行う。

年 度	R 6実績	R 7実績	R 8 予定
①週休2日工事発注件数 (継続工事含む)	1,204件	1,345件	—
②未竣工(継続工事等)を 除く取組表明件数	965件	—	—
③(通期の)4週8休達成	948件	—	—
割合(③/②)	98.2%	—	—

## (2) 工事の施工時期の平準化

- ・「早期発注(4～6月の稼働件数)」について、令和8年度は6割程度の発注予定
- ・余裕期間制度(フレックス方式)適用は、令和8年度は約5割程度の発注予定

年 度	R 6実績	R 7実績	R 8 予定
早期発注	553件 (53%)	583件 (55%)	614件 (61%)
余裕期間制度	283件 (27%)	387件 (36%)	485件 (48%)

\* 当該年度の発注件数に対する割合

## (3) 業務の履行期限の平準化

- ・「早期発注」に取組むほか、「年度を跨いだ履行期間を設定した業務発注」を実施予定

年 度	R 6実績	R 7実績	R 8 予定
年度末期限を設定した業務件数	228件 (61%)	203件 (59%)	—

## (4) 工事書類の作成に関する負担軽減

- ・土木工事では、提出書類縮減に向け不要な書類を明示した「工事書類スリム化のポイント」を令和7年3月に作成
- ・営繕工事においても、工事書類簡素化要領の見直しを行い、令和8年3月に「簡素化書類一覧表」の全面改定を行うとともに、簡素化に取り組む上での補足事項や具体的な取扱いに関する質問・回答をまとめた「Q&A」を新たに作成(別紙5-2参照)

## 重点施策Ⅲ：業界全体の生産性向上

## Point

- ・ICTの活用拡大に向けた環境整備【市、業界】
- ・工事や業務における提出書類の電子化の推進【市、業界】
- ・作業の省力化・効率化等に資するデジタル技術の情報収集及び水平展開【市、業界】

## (1) ICT活用工事の発注

- ・ICT活用工事の発注は、毎年拡大しており、令和8年度は122件発注予定

年度	R6実績	R7実績	R8予定
ICT活用工事の発注件数	57件	89件	122件
上段：工事件数、下段：工種数	68工種	105工種	128工種

※令和7年度新たに小規模工事（市街地施工）においても取り組みやすい「First Step SAPPORO」型工事を発注し、ICT活用の最初の一步を応援

## ◆令和7年度インフラDX大賞 優秀賞（地方公共団体等の取組）を受賞

## ○インフラDX大賞とは

- ・国土交通省は、インフラ分野においてデータとデジタル技術を活用し、建設生産プロセスの高度化・効率化、国民サービスの向上等につながる優れた実績を「インフラDX大賞」として表彰し、ベストプラクティスの横展開を図っています。

## ○評価されたポイント

- ・扱いやすいICT測量機器を活用したスマートスタートとすることで、都市型土木工事におけるICT実施件数を約3倍（R6:15件→R7:49件）と飛躍的に増加させた。また同じような都市型土木を発注する市町村レベルの自治体でも活用や応用が可能であり、全国的な水平展開など波及効果が期待できる。

## ○受賞内容



インフラDX大賞授与式の写真  
①全体集合写真  
②小泉局長と金子大臣



## (2) ICT研修の実施

- ・受注者に向け「ICT研修」を今年度も継続して実施

時期	研修名	内容	参加者数
4月	FirstStepSAPPORO型マスター研修	FirstStepSAPPORO型の解説 3D設計データ作成実習等	47名
7月	経営者向けICT研修	ICT施工のメリット・採算性 ICT導入補助金・助成金制度の紹介等	36名
11月	ステップアップ型ICT研修	来年度に向けた要領改訂内容や ICTの普段使いに向けて等	49名
3月	内製化チャレンジ型ICT研修	外部への委託ではなく 自社によるICT施工（内製化）を促す等	—

## (3) ICTに関する情報発信

- ・ICT施工に関するホームページや相談窓口、ICTアドバイザー制度（開発局）を継続

## (4) 電子納品の標準化（R8年度）

- ・建設局土木部所管工事において原則5000万円以上の工事について電子納品の標準化
- ・水道局・下水道局所管工事において原則1億円以上の工事について電子納品の標準化

## (5) ICTを活用した作業等の効率化

- ・工事における「遠隔臨場」について、発注者指定型及び受注者希望型を合わせて活用を継続
- ・工事における「ASP（情報共有システム）」について、受注者からの提案に応じて活用を実施しており土木・営繕共に実施件数は増加している。

※都市局建築部発注工事においては一定の金額・工期を超えるものについて発注者指定型を原則

年度	R 5実績	R 6実績	R 7実績
工事における ASP(情報共有システム) 実施件数	土木 17件 営繕 30件 計47件	土木 57件 営繕 61件 計118件	土木 148件 営繕 126件 計274件

## 各団体への照会内容項目 一覧

### ■担い手の確保・育成

【報告1】ホームページ、SNSの活用等による情報発信体制の充実

【報告2】インターンシップまたは体験イベントへの出展等の実施

【報告3】多様な人材（女性、他業種、外国人、普通科高校等の学生）への取組

### ■働きやすい労働環境の整備

【報告4】週休2日やワーク・ライフ・バランスの推進等、就業環境の整備への取組

【報告5】分業体制の構築の検討、および人材育成への取組

### ■業界全体の生産性向上

【報告6】生産性向上（効率化・省力化）に向けた取組

【報告7】新技術活用に関する取組や情報収集

【報告1】ホームページ、SNSの活用等による情報発信体制の充実

照会内容	貴団体及び会員企業における「ホームページやSNSの活用等による情報発信」に関する取組を教えてください。 例1：制作したPR動画をYouTube等に掲載し情報発信 例2：ホームページを最新の情報に更新し、定期的に内容のリニューアルを検討 例3：団体ホームページに会員企業ホームページへのリンクを掲載
------	---

○...予定した取組達成 ◎...予定以上の取組達成 △...予定した取組未達成

No.	団体名	令和7年度の取組予定	結果
1	(一社)札幌建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作したPRマンガ、YouTubeに掲載したPR動画等を活用した情報発信。</li> <li>ホームページのセキュリティを強化したほかスマホ対応にリニューアル。</li> </ul>	○
2	札幌市土木事業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来はPC用専用のホームページであったが、今年からスマホ専用画面の追加を検討している～継続（会員企業）</li> <li>工事の掲示板にQRコードを埋め込みPRにあたる予定～継続（会員企業）</li> <li>YouTubeで人材募集等の広告を行っている～継続（会員企業）</li> </ul>	○
3	(一社)札幌中小建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページを活用し、学生向けの記事内容の発信に配慮しながら、情報発信体制の充実に取組む予定（団体、会員企業）</li> <li>協会ホームページを最新の情報に更新し、協会の活動内容等を紹介（団体）</li> <li>協会ホームページの会員名簿から会員企業ホームページにリンクして紹介（団体、会員企業）</li> </ul>	○
4	(一社)北海道舗装事業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなPR動画の制作とサウンドメディア「MACHI-FAN GUIDE」やインスタグラムを通じた情報発信</li> </ul>	○
5	札幌会	<ul style="list-style-type: none"> <li>各会員企業において判断し、実施している</li> </ul>	○
6	札幌市除雪事業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページを最新の情報に更新し、定期的に内容のリニューアルを検討</li> <li>団体ホームページに会員企業ホームページへのリンクを掲載</li> <li>団体ホームページに札幌市関係部署（雪対策室・道路維持）ホームページへのリンクを掲載</li> </ul>	○
7	札幌塗装工業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>若年者向けに求人情報を組合HPに載せて情報発信を実施（団体）</li> <li>既成の塗装PR誌と各組合員の求人を含めた組合求人誌を作成（団体及び会員企業）</li> </ul>	○
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPによる協会や各会員の事業紹介（団体）</li> <li>毎月1回、協会の活動等をまとめた北道協ニュースを引き続きHPに掲載（団体）</li> <li>年2回発行される広報誌みどりを引き続きHPにも掲載（団体）</li> </ul>	○
9	(一社)札幌電設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社制作のPR動画を発信（媒介は検討中）→○</li> <li>週1回のペースで各部署の若手社員が持ち回りで執筆。現場での仕事内容、やりがいなど、学生や求職者にリアルな声が届く内容を発信 →○</li> <li>グループ全体でInstagramを活用し、週1回以上の投稿を目標に、社員研修の様子、社内イベント、現場風景、地域貢献活動などを写真とともに紹介 →○</li> <li>ソフトテニス実業団の活動のほか、北海道サッカー協会との連携を通じ大会プログラム・HPリンクで建設業をPR→△</li> <li>PRTIMES等で新規受注・完工実績、SDGsや働き方改革への取り組み、若手育成プログラムなど、社会的関心の高いテーマを選定しリリース配信、SNS連携し拡散→○</li> <li>制作したTVCMの放映（TVer等）およびPR動画をYouTube等に掲載し情報発信→○</li> <li>スマホでも見やすいページになるようにメンテナンスしている→○</li> <li>ウェブページに採用サイトを特設（継続）、2026卒マイナビへの掲載および付帯サービスのSNS連携投稿（新規）→○</li> <li>(以上、会員企業)</li> <li>協会ホームページに会員企業ホームページへのリンクを掲載（団体）→○</li> </ul>	○
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの記載内容を最新の情報にするため適時更新する</li> </ul>	○
11	札幌市管工事業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的（月2回）にホームページを更新して、最新情報を発信（団体）。</li> <li>制作したPR動画をホームページに掲載、令和7年11月～2月の期間でYouTubeにて広告配信予定（団体）。</li> <li>団体ホームページに会員企業ホームページへのリンクを掲載。</li> </ul>	○
12	札幌管和会	-	-
13	札幌環境維持管理協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に開設したホームページを活用して会員内外に情報を発信（団体）</li> </ul>	○
14	札幌建具工業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>2017年にホームページを開設し、当組合の組織、各種事業（組合員）の社会貢献事業等の最新情報を発信しております。</li> <li>組合員のホームページ上のブログを不定期ではありますが、情報を掲載しております。</li> </ul>	○
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページを活用して、会員内外に情報を発信（継続）</li> </ul>	○
16	札幌市設計同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ等にて情報発信（会員企業）</li> </ul>	○
17	札幌市測友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページを随時更新し、札幌市や他団体の情報を随時提供する。</li> </ul>	○
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員のHP開設を推進（団体）</li> <li>会員内外に講習会、イベント等の情報発信（団体）</li> </ul>	○
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	-	-

【報告2】インターンシップまたは体験イベントへの出展等の実施

照会内容	貴団体及び会員企業における「工業系学生等を中心とした入職促進」に関する取組を教えてください。 例1：インターンシップや現場見学の受け入れ（工業系高校等に対して） 例2：職業体験や出前講座の実施（工業系高校等に対して） 例3：〇〇ツアーや〇〇イベントへの出展
------	---

○...予定した取組達成 ◎...予定以上の取組達成 △...予定した取組未達成

No.	団体名	令和7年度の取組予定	結果
1	(一社)札幌建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道札幌工業高校の土木科・建築科（2年生）及び保護者を対象とした現場見学会を開催。</li> <li>北海学園大、北海道科学大を対象とした現場見学会を札幌市と共催。</li> <li>北海道札幌工業高校のインターンシップについて会員企業との仲介。</li> </ul>	○
2	札幌市土木事業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手だけで取組むイベントに助成を予定～継続（会員企業）</li> <li>毎年、札幌工業高校よりインターンシップを受け入れており本年度も継続する～継続（会員企業）</li> </ul>	○
3	(一社)札幌中小建設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>入職促進（インターンシップや見学受け入れ）に取組む予定（会員企業）</li> <li>施工管理の魅力について大学にて出前講座を実施（会員企業）</li> </ul>	○
4	(一社)北海道舗装事業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップ受け入れ調整、イベントへの出展検討</li> </ul>	○
5	札幌舗会	<ul style="list-style-type: none"> <li>各会員企業において判断し、実施している</li> </ul>	○
6	札幌市除雪事業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジモトのシゴト ワク！WORK！の出展</li> <li>環境広場さっぽろへの出展</li> </ul>	○
7	札幌塗装工業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌商工会議所の企画による任期制自衛官向け業界研修に参加（組合求人誌を活用。団体）</li> <li>札幌商工会議所の企画による道内高校との連携強化事業に参加（団体及び会員企業）</li> <li>①インターンシップ（オープンカンパニー） ②就職情報交換会 ③出張型企業説明会</li> </ul>	○
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏場に市内の大学への出前講座と現場見学会を開催予定（団体）</li> <li>札幌商工会議所が主催する「出張お仕事体験会」に、参加を検討（団体）</li> </ul>	○
9	(一社)札幌電設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップの受け入れ、各種職場見学会の実施→○</li> <li>ポリテクセンターへ会社説明会の実施→◎</li> <li>工業系高校以外の学校からのインターンシップの実施要請に協力→○</li> <li>出前講座、職業体験の実施（工業系高校、普通科高校→○</li> <li>こどものまちミニさっぽろで電気工事のお仕事体験提供→○</li> <li>2026卒向け現場見学会および若手社員との食事会、2026卒マイナビのイベント出展→○（以上会員企業）</li> </ul>	○
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ジモトのシゴト ワク！WORK！」へ札幌市管工事業協同組合と合同で出展し、配管の組立体験、3D CAD操作体験をしてもらい業界の認識を深めてもらう</li> <li>札幌商工会議所主催の「出張お仕事体験会」で中学生を対象に札幌市管工事業協同組合と合同で出展し、配管の組立体験をもらい業界の認識を深めてもらう</li> <li>札幌市経済観光局産業振興部主催「さっぽろシゴト博」へ札幌市管工事業協同組合と合同で出展</li> </ul>	◎
11	札幌市管工事業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道札幌琴似工業高等学校 電子機械科1年生及び2年生のインターンシップ（事前講義、札幌市水道局「藻岩浄水場」施設見学、配管実習及び就業体験）を実施予定（団体及び会員企業）。</li> <li>札幌商工会議所からの依頼で「ジモトのシゴト ワク！WORK！」へ札幌商工会議所、（一社）札幌空調衛生工事業協会及び関係団体と合同で出展予定（団体）。</li> <li>札幌商工会議所からの依頼で「出張お仕事体験会」へ（一社）札幌空調衛生工事業協会と合同で出展予定（団体）。</li> <li>ミニさっぽろ2025実行委員会（構成団体：札幌市等）主催「こどものまち『ミニさっぽろ2025』」へ出展予定（団体）。</li> <li>札幌市経済観光局産業振興部主催「さっぽろシゴト博」へ札幌空調衛生工事業協会と合同で出展（団体）</li> </ul>	◎
12	札幌管和会	-	-
13	札幌環境維持管理協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップの受け入れ（会員企業）</li> </ul>	○
14	札幌建具工業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>さっぽろ建設産業活性化推進協議会が推進するインターンシップへの参加。→○</li> <li>就労支援施設からの工場見学の要望への受け入れ。→△（要望なし）</li> <li>札幌地方職業能力開発協会が主催する技能フェスティバルの「モノづくり体験」で札幌技能士会と参加支援しております。→○</li> </ul>	○
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学への業界説明・PR講義開催（継続）</li> <li>ポスターカレンダーを製作し、各大学・高専へ配布（継続）</li> <li>札幌市主催1日インターンシップへの参画（新規）</li> </ul>	○
16	札幌市設計同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップの受け入れ（会員企業）</li> <li>求人媒体との連携（会員企業）</li> <li>企業説明会への参加（会員企業）</li> </ul>	○
17	札幌市測友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>「建設産業ふれあい展」「ジモトのシゴト ワク！WORK！」「出張お仕事体験」等に参加する。</li> </ul>	○
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	-	-
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	-	-

【報告3】多様な人材（女性、他業種、外国人、普通科高校等の学生）への取組

照会内容	貴団体や会員企業における「多様な人材（女性、他業種、外国人、普通科高校等の学生）」に関する取組を教えてください。 例1：女性技術者合同座談会の開催 例2：他業種または外国人材の採用・求人活動 例3：職業体験や出前講座、インターンシップの実施（普通科高校等に対して）
------	---

○...予定した取組達成 ◎...予定以上の取組達成 △...予定した取組未達成

No.	団体名	令和7年度の取組予定	結果
1	(一社)札幌建設業協会	・建青会の「夏休み親子現場見学会（主に小学生親子）」を共催。 ・「建設産業ふれあい展」にブースを出展設置。 ・札幌「建設産業体験会（中学2年生対象）」に会員企業8社が参加。 ・「（仮称）人材確保・定着セミナー（外国人採用編）」への後援（参画）。	○
2	札幌市土木事業協会	・求人採用範囲を未経験者からとして広げて、多様な人材（女性など）の採用を促進する予定。～継続（会員企業）	○
3	(一社)札幌中小建設業協会	・女性技術者の「どさん娘の会」所属を継続する予定（会員企業）	○
4	(一社)北海道舗装事業協会	・オウンドメディア「MICHI-FAN GUIDE」を通じた情報発信	○
5	札幌会	・各会員企業において判断し、実施している	○
6	札幌市除雪事業協会	-	-
7	札幌塗装工業協同組合	・札幌商工会議所の企画による道内高校との連携強化事業に参加（団体及び会員企業） ①インターンシップ（オープンカンパニー） ②就職情報交換会 ③出張型企業説明会	○
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・当協会の会員企業に所属する女性職員により「緑麗会」という組織をつくっているが、当会が札幌市の大通花壇造成事業に参加した状況を、ホームページにより紹介する。（団体）	○
9	(一社)札幌電設業協会	・高専や工業高校以外の学部・学校への求人範囲の拡大→○ ・性別、経験あり・未経験問わず求人活動を実施中→○ ・女性・外国人の採用活動→◎ ・工業系以外の学部へも積極的に学校訪問し、文理不問で募集。中途未経験人材も積極採用→○ ・建設ディレクターとして女性社員を積極採用→△ ・今まで男性社員が担当していた技術的な知識を必要としていた業務に対しても、女性を雇入れその業務を受け持ってもらえるように指導している→○ ・性別に関係なく業務の質を評価し人事考課している→○ （以上、会員企業）	○
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・当協会の広報誌【KIRAMEKI】へ会員企業の女性職員に日常業務内容、職場環境や業界に対する女性の視点などを投稿してもらい、女性が働きやすい業界であることを紹介する記事を掲載する	○
11	札幌市管工事業協同組合	-	-
12	札幌管和会	-	-
13	札幌環境維持管理協会	・インターンシップの受入れ実施（会員企業）	○
14	札幌建具工業協同組合	・高等支援学校の体験実習の受け入れ。（年2回実施）。	△
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・札幌市主催1日インターンシップへの参画（新規）	○
16	札幌市設計同友会	・インターンシップの受け入れ（会員企業）	○
17	札幌市測友会	-	-
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	-	-
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	・普通科高校の学生に対し、これまで同様、職業体験等（建築設計等）のインターンシップを実施 ・札幌商工会議所主催の小中学生を対象とした設計等のお仕事体験との連携	○

【報告4】 週休2日やワーク・ライフ・バランスの推進等、就業環境の整備への取組

照会内容	貴団体や会員企業における「就業環境の整備」に関する取組を教えてください。 例1：週休2日の確保や適正な休暇の取得に向けた取組 例2：育児休業や育児休暇の取得を推進 例3：建設キャリアアップシステムの導入
------	--

No.	団体名	令和7年度の取組予定	
		○...予定した取組達成 ◎...予定以上の取組達成 △...予定した取組未達成	結果
1	(一社)札幌建設業協会	・CSRとコンプライアンスに関するセミナーを開催。 ・「行動宣言2016実践集」の作成 ・建設キャリアアップシステムの導入促進。	○
2	札幌市土木事業協会	・週休2日制を今年度より規定とする。また下請会社にも協力をお願いし、経費の上乗せを行う予定～継続 ・原則、週休2日制を実施しているが、冬期間の除排雪時には確保が難しいため、代替休暇を取らせている。残業時間は0時間を目標に取り組んでおり、そのための増員を進めている～継続 ・就業時間、代替休暇取得を携帯アプリやサーバーで管理し管理者に情報を共有して就業状況を把握～継続 ・有給休暇を積極的に取るように、会社からの指示を現場担当者に行い、そのための増員を会社として積極的に人員募集に努めている～継続(会員企業)	○
3	(一社)札幌中小建設業協会	・時間外労働の上限規制に努めるため、月30時間の見込み残業制度に取組む予定(会員企業) ・都市型土木の性質上、現場事務所の設置が困難な場合があるが、時間外労働の短縮に向けて、車両型事務所を購入し帰社後の机上残業の短縮に努める予定(会員企業) ・繁忙期での週休2日の確保が難しいため、年間トータルで運用する予定(会員企業) ・通年雇用月給制に移行し、週休2日に対応できる労働環境を確保する予定(会員企業)	○
4	(一社)北海道舗装事業協会	・アスファルト合材プラントにおける土曜閉所の取組	○
5	札幌会	・各会員企業において判断し、実施している	○
6	札幌市除雪事業協会	—	—
7	札幌塗装工業協同組合	・働き方改革支援センターをはじめ、関係各所からの情報提供、働き方改革に向けた会員企業を対象とした相談の実施	○
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・ノー残業デーの実施(会員企業) ・有給休暇の取得促進(会員企業)	○
9	(一社)札幌電設業協会	・リフレッシュ休暇の導入、健康手当の導入 ・週休2日制への移行準備 ・就業者の4週8休を推進しながらワークバランスの確保 ・36協定及びキャリアアップ導入を行っているので、引き続き継続 ・週休2日の確保や適正な休暇の取得に向けた取組のため、毎月の部内会議にて個人ごとの「有給取得日数・時間外勤務時間」を全体で共有している。 ・タスク管理ツールや月1の会議により各現場状況の整理し、業務分析を行う ・毎年年間休日数を増加 ・時間外労働時間をアプリで通知、上司が業務をコントロールすることで時間外労働の偏りを解消 ・家庭と仕事の両立支援として、育児休業や時短勤務等の取得を推進 ・社外にオンライン相談窓口を設け、社員のメンタルヘルスクアを実施 ・育児休業、育児休暇制度の見直し実施 ・ワークライフバランス検討プロジェクトをたて、就業環境整備の検討を実施中 ・有給休暇の取得促進に向けた「全社目標(年間12日以上)の休暇取得」の設定と「休暇取得促進日・促進月間の取組」の実施 ・札幌市ワーク・ライフ・バランスplus企業認証(ステップ3)取得済み ・北海道働き方改革推進企業(シルバー)更新 ・女子社員出生のとき産前産後は有給の特別休暇、出生のとき5日の別休暇付与(3ヶ月以内なら自由に利用可) ・高機能的な勤怠管理システムの導入による従業員の勤怠把握および上限規制超過防止のための従業員への適時通知 ・現場責任者の人事評価項目に現場メンバーの休日確保推進や時間外労働の適正な管理などを追加 ・全社員の人事評価項目に生産性(時間当たりの粗利益)を追加漫然とした時間外労働の削減をねらう(以上、会員企業)	○
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・官公庁の発注機関との意見交換会を開催し、担い手確保・育成のための環境整備を要望する	○
11	札幌市管工事業協同組合	—	—
12	札幌管和会	—	—
13	札幌環境維持管理協会	・働き方改革についてのセミナーの実施(団体)→△ ・週休2日の確保及び時間外労働の削減など働き方の取り組み(会員企業)→○	○
14	札幌建具工業協同組合	・完全週休2日を実現するために、パートナー企業との連携	△
15	(一社)建設コンサルタント協会 北海道支部	・業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施(継続)	○
16	札幌市設計同友会	・有給休暇の取得推進(会員企業) ・育児休業の取得推進(会員企業) ・介護や育児と仕事の両立支援(会員企業)	○
17	札幌市測友会	・週休2日の実施状況をアンケート調査にて聞き取る。	○
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	—	—
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	—	—

【報告5】分業体制の構築の検討、および人材育成への取組

照会内容	貴団体や会員企業における「分業体制の構築の検討および人材育成」に関する取組を教えてください。 例1：建設ディレクターまたは類する役職等の設置による分業体制の導入または検討 例2：資格取得支援 例3：研修会の実施
------	--

○...予定した取組達成 ◎...予定以上の取組達成 △...予定した取組未達成

No.	団体名	令和7年度の取組予定	結果
1	(一社)札幌建設業協会	・新入社員合同研修会の開催 ・「(仮称)人材確保・定着セミナー(バックオフィス編)」への後援(参画)。	○
2	札幌市土木事業協会	・長期、短期の柔軟なインターンシップ受け入れを実施する。また、YouTubeチャンネルでの仮想就業体験を計画している。～継続(会員企業) ・土木、機械等の資格については会社負担にて講習受講。ただし、教育訓練給付金対象のみ。～継続	○
3	(一社)札幌中小建設業協会	・「現場技術者研修会」を集合研修で行うとともに、その内容を録画、ファイル化し、オンデマンド・リモート研修として、後日配信する予定(協会)	○
4	(一社)北海道舗装事業協会	・若手技術者の技術力向上のため舗装基礎技術研修の実施	○
5	札幌舗会	・各会員企業において判断し、実施している	○
6	札幌市除雪事業協会	・若手や初心者のおペレータ育成・技術伝承のための実技研修	○
7	札幌塗装工業協同組合	・会員企業は新卒入職者(高校)並びに転職者を組合が運営する塗装技術学院(職業訓練校)に入校させ学ばせる。(団体及び会員企業) ・会員企業は組合並びに各種団体が実施する各種技能講習会に参加させる。(団体及び会員企業)	○
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・4月中旬に、会員の若手・新入社員を集めて3日間にわたる研修会を開催した(団体) 【主な研修内容】 ・建設業社員としての心構え ・建設現場における基本、仕事の流れ、基本技術 ・若手技術者に求められる基本動作 ・施工管理の基本、現場の安全 ・9月上旬に、庭園樹剪定技術講習会を開催し、剪定技術の習得と庭園管理技能の向上を図る(団体) ・自ら研修内容を企画し、視野の拡大と意識改革を図ることを目的に「自主企画国内派遣研修」の制度を運用しているが、参加者を募集する(団体) ・日本造園建設業協会が主催する資格制度(街路樹剪定士、植栽基盤診断士)や北造協が主催する植生施工管理技士を利用して、企業内の資格者増に努める(会員企業) ・造園技術講演会、植生技術講演会を開催し、技術の研鑽に努める。	○
9	(一社)札幌電設業協会	・社内での定期的な研修実施(ハラスメント・職長教育・安全衛生講習等)→○ ・建設ディレクターまたは類する職位の人材確保。主に女性や軽度障害者などを起用→△ ・資格取得の支援し、将来的に職種への希望する選択肢を増やす取組む→○ ・資格取得・技術講習の取組を引き続き継続→○ ・資格取得支援(助成金を積極的に活用中)、研修会の実施(グループ会社が主催する年間研修計画に基づき、様々な研修を受講中)→○ ・講習会費用等のサポート→○ ・2025年度より職業能力開発大学校及びポリテクセンターと連携開始、新卒含め業界未経験入社社員に対し約1か月の研修を実施→○ ・業務に必要な資格へ取得支援制度を拡充。報奨金として最大22万円を設定、資格取得者の増加を図る→△ ・60歳以上の技術者を嘱託社員として積極採用。また再エネ技術に精通した社員からの定期的な勉強会等を実施し技術を伝承→○ ・業務効率化と属人化による業務の偏りの解消のため、内外勤務の分業体制の構築を検討→○ ・技術訓練用の自社施設建設について検討を開始→○ ・建設ディレクターを職種として正式に設置。クラウド型HRシステム「カオナビ」導入、実績の正確な記録、スキルマッピング・キャリアプランニング、人事評価基準および報酬体系の明確化に取り組む→△ ・産廃 manifests の集計や一部安全書類の整備を本社事務方にて行う→○ ・新規・中途入職者等の育成・技術承継のための定例会議、施工前検討会の確保→○ (以上、会員企業)	○
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・技術系新入社員研修会を開催し人材育成に取組む ・技術系ステップアップ研修会(入社後2～4年の職員対象)を開催し、技術承継に取組む ・施工管理技士の受験講習会を開催し、若手の資格取得促進に取組む	○
11	札幌市管工事業協同組合	・管工事業界で必要となる各種資格試験(給水装置工事主任技術者試験、1・2級管工事施工管理技術検定試験、1・2級土木施工管理技術試験)に合格した、会員企業の従業員へ資格試験受験料の助成を実施。 ・給水装置工事主任技術者試験の勉強会、直前講習会を実施予定。 ・技術継承、人材育成等を目的とした「(仮称)次代へつなぐプロジェクト」の作成に向け継続して検討。	○
12	札幌管和会	—	—
13	札幌環境維持管理協会	・資格取得の奨励、支援	○
14	札幌建具工業協同組合	・技能士をはじめ、建築施工管理技士、その他の資格取得の推進。	○
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・若手技術者を対象としたミス防止に関する講習会の実施(継続)	○
16	札幌市設計同友会	・資格取得支援(会員企業) ・熟練技術者主導の実践的勉強会による技術伝承(会員企業)	○
17	札幌市測友会	・契約時における電算化の促進について、札幌市と意見交換を実施する予定。	○
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	—	—
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	会員事務所の職員に対し、資格取得支援として1級建築士試験勉強会を実施	○

【報告6】生産性向上（効率化・省力化）に向けた取組

照会内容	貴団体や会員企業における「生産性向上（効率化・省力化）」に向けた取組を教えてください。 例1：工事におけるICT施工やASP、電子納品等の実施 例2：業務における〇〇技術の活用
------	--

○...予定した取組達成 ◎...予定以上の取組達成 △...予定した取組未達成

No.	団体名	令和7年度の取組予定	結果
1	(一社)札幌建設業協会	・「(仮称)人材確保・定着セミナー(生産性向上編)」への後援(参画)。	○
2	札幌市土木事業協会	・工事におけるICT施工やASP、電子納品等の実施を積極的に検討し、受注工事に対応して行く。(会員企業)	○
3	(一社)札幌中小建設業協会	・生活道路整備工事等でICT施工を導入する予定(会員企業) ・協会ホームページからASP利用申込みフォームにリンクして活用を促進(協会及び会員企業)	○
4	(一社)北海道舗装事業協会	・各種講習会等の会員への情報発信	○
5	札幌会	・各会員企業において判断し、実施している	○
6	札幌市除雪事業協会	-	-
7	札幌塗装工業協同組合	・現場検査に対するデジタル技術導入の検討	○
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・ICTを活用した生産性向上に関する研修について検討を行う。(団体)	○
9	(一社)札幌電設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用。(ASP、電子納品等は実施済み)→○</li> <li>・工事におけるICT施工やASP、電子納品等の実施。デジタル技術の活用(工事・業務)→○</li> <li>・タブレット等を用いて社内全体での情報の共有や更新体制の拡充→○</li> <li>・NIコラボ導入により、紙回覧をパソコン回覧へ。スケジュール等もNIコラボにて共有化を実施(2024年より実施)→○</li> <li>・グループ親会社に設置されているIT専門部門(4名所属)と密接に連携しDXを積極的に推進→○</li> <li>・一定以上の役職者に対しノートパソコンを支給、セキュリティを担保したうえで社内外問わず対応できる環境を整備→○</li> <li>・工事写真の撮影・共有や図面閲覧、また電子黒板アプリを利用するため、現場用iPad導入を含めた現場作業のデジタル化を推進→◎</li> <li>・「ANDPAD」「スパイダープラス」等の現場支援アプリの活用し、図面管理・検査記録・打合せ資料の共有等をアプリ上で一元化。現場と内勤の情報連携を強化、報告・連絡・確認作業の省力化を図る→○</li> <li>・売上・利益・労働時間を集約したBIツールを開発、労働生産性を軸にした事業マネジメントを実施→○</li> <li>・見積作成や案件管理などのオリジナル業務アプリを内製開発、業務効率の向上と社内情報共有・進捗の見える化を実現→○</li> <li>・OCR、RPA技術の導入による帳票入力作業の効率化→○</li> <li>・現場からの課題発見と改善案を広く集め、新技術やツールを活用した取組を表彰。実務レベルで展開し、ボトムアップでのイノベーションを推進→△</li> <li>・現場管理アプリ(SPIDERPLUS)による、写真整理や現地試験帳票作成、現場情報管理の効率化および現地試験帳票作成のBPOサービス利用による生産性向上→○</li> <li>・自動レイアウトツール(PLT300/400)を使用した、現場墨出し作業の効率化と、墨出し用施工図作成業務の省力化→△</li> <li>・Bluetooth測定機器類のデジタルデータ化を実施し作業を効率化→○</li> <li>・クラウドサービスの活用による業務の効率化・標準化および情報共有→○</li> </ul> (以上、会員企業)	○
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	-	-
11	札幌市管工事業協同組合	-	-
12	札幌管和会	-	-
13	札幌環境維持管理協会	・点検調査・保守業務の機器及び施工方法への新技術導入促進	○
14	札幌建具工業協同組合	・人材不足の対応のため、機械導入計画及び札幌市工事書類スリム化のポイントに則り、業務作業の減少を目指す。	△
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・支部内に「BIM/CIM検討WG」を設置し、BIM/CIMの活用、課題について議論(継続) ・ICTに関する講習会を会員向けに実施(継続)	○
16	札幌市設計同友会	・Teams等コミュニケーションツールを活用した部門間等の情報共有の迅速化(会員企業) ・社内講習による基本ソフトウェアスキルの向上(会員企業) ・eラーニングによる研修(会員企業)	○
17	札幌市測友会	・ICT活用を促進し、自動追尾TSを用いた測量作業の研修を検討。	○
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	-	-
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	-	-

【報告7】新技術活用に関する取組や情報収集

照会内容	貴団体や会員企業における「新技術活用に関する取組や情報収集」を教えてください。 例1：新技術に関するイベント（〇〇）への出席・参加 例2：大学などの研究機関等と共同した新技術の検討・開発
------	---

○...予定した取組達成 ◎...予定以上の取組達成 △...予定した取組未達成

No.	団体名	令和7年度の取組予定	結果
1	(一社)札幌建設業協会	・現場代理人研修会（WEB）の開催	○
2	札幌市土木事業協会	・外部教育機関を活用して新技術に関する交流を図る。（会員企業）	○
3	(一社)札幌中小建設業協会	・大学との共同研究による、AI等を活用した新技術の開発（会員企業）	○
4	(一社)北海道舗装事業協会	・舗装研究助成を通じた技術開発、調査研究	○
5	札幌会	・各会員企業において判断し、実施している	○
6	札幌市除雪事業協会	－	－
7	札幌塗装工業協同組合	・関係団体の技術委員会への参加等による情報収集	○
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	－	－
9	(一社)札幌電設業協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SPT 配管診断（特許取得）、ジャパンビルド2024 へ出展、マンション総合EXPO2025 出展予定、東京都トライアル発注認定制度、公益社団法人ロングライフビル推進協会BELCA 技術認定取得→△</li> <li>・ 新基準の工具類への切替を積極的に促進して、生産性の向上や業務時間の短縮を図る→○</li> <li>・ 講習の参加、各企業の安全大会でのメーカーPRで情報収集→○</li> <li>・ 新技術等のメーカーが開催する勉強会への出席→○</li> <li>・ 最新のICT・AI・業務改善ソリューションに関する情報収集を目的に道内外のIT関連展示会・セミナー等に積極的に参加→○</li> <li>・ 社内でのAI活用に関する講習会の実施→○</li> <li>・ はこだて未来大学「ICT演習」に協力、学生への指導を通じて新たな技術の導入を検討→△</li> <li>・ 大学等への訪問により、新技術の勉強や関係性構築を実施→△</li> <li>・ ビジネスEXPO、JECA FAIR（電設工業展）等の展示会への参加→○</li> <li>・ 電気設備学会、照明学会等の各種学会主催の講演会の聴講および見学会への参加→○</li> </ul> （以上、会員企業）	○
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	－	－
11	札幌市管工事業協同組合	－	－
12	札幌管和会	－	－
13	札幌環境維持管理協会	・ 各種展示会への参加により新技術情報の収集及び会員企業への情報共有	○
14	札幌建具工業協同組合	・ 金物メーカー等の新製品発表会等の出席	○
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道開発局 新技術活用評価委員会に参画（継続）</li> <li>・ 土現新技術ショーケースに参画（継続）</li> </ul>	○
16	札幌市設計同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学等研究機関との共同研究による新技術開発（会員企業）</li> <li>・ 学術論文の発表および学会参加を通じた最新技術情報の収集と活用（会員企業）</li> <li>・ 業界展示会へ参加（会員企業）</li> </ul>	○
17	札幌市測友会	・ 自動運転の社会実装における測量成果の検証についての情報収集	○
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	－	－
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	・ 会員の新技术を提案する場を設け、新製品の展示、新技术の紹介により会員同士の交流を通じて情報交換を推進	○

## 設立趣旨

### 1. 個別発信の限界

- ・各建設会社は、自社の強みや事例に基づいて魅力を発信している（例：施工事例紹介、福利厚生、働き方）。
- ・しかし、自社アピールは出来るものの、『建設業全体』としての魅力が伝わりづらいのが課題。
- ・中小企業では広報・マーケティングリソースが限られ、発信力に差が出てしまう。

### 2. 業界団体の動き

- ・建設業協会や建青会、各発注者などが業界全体の魅力発信を試みているが、どうしても一般層へのリーチは限定的なものとなっているのが課題。
- ・若者向けコンテンツ（動画、SNS など）が少なく、トレンドに追いつくことが難しい印象も見受けられる。

### 3. 建設業の魅力発信を専門に行う“新メディア”を設立する

- ・北海道の建設業界全体を応援・PR する目的で、業界横断の広報や Web 活動等を行う組織を設立。
- ・スピード感を持った組織とするため、設立当初は必要最低限の団体で立ち上げることとする。なお、趣旨に賛同いただける団体の入会は随時受け付けるものとする。

## 新組織

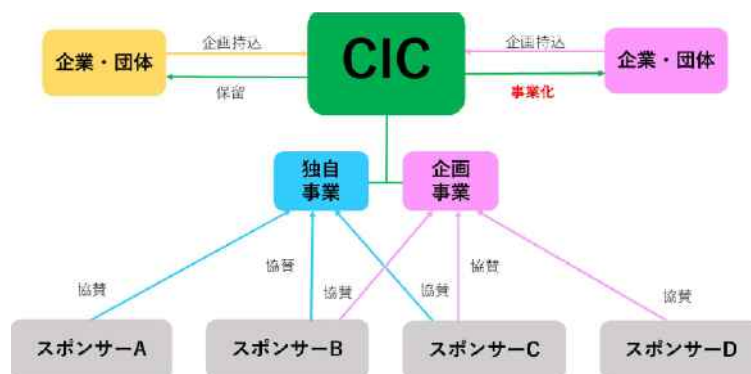
### 建設イノベーション・コンソーシアム

Construction Innovation Consortium (略称：C I C)

【会員】

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 一般社団法人北海道建設業協会     | 一般社団法人北海道舗装事業協会        |
| 一般社団法人北海道開発技術センター  | 一般社団法人北海道道路管理技術センター    |
| 一般社団法人北海道河川財団      | 一般社団法人北海道建設技術センター      |
| 札幌市除雪事業協会          | 一般社団法人建設コンサルタント協会北海道支部 |
| 一般社団法人北海道造園緑化建設業協会 | 北海道建設業信用保証株式会社         |
| 北保証サービス株式会社        |                        |

## 事業イメージ



## 申込み・お問合せ先

北保証サービス株式会社  
 TEL:011-241-8654 FAX:011-222-6601  
 E-mail:khs@hokkaido-cs.co.jp

# 事業：第1弾

## 建設業界の現場を舞台にした縦型ショートドラマの制作

Presented by たてがた 縦型ショートドラマ制作委員会

若年層の人気の高い「縦型ショートドラマ」を制作！  
とある町での、建設の現場を舞台にしたストーリーで建設業のイメージをアップ。恋愛要素や友情要素を盛り込み、若者世代やその親世代へリーチします。  
将来的には、1つの市町村で撮影することで、地域創生も目指します。

地元テレビ局とタイアップし、縦型ショートドラマを制作。  
放送後はSNS等で視聴できるようにします。



また協力してくれる自治体を舞台にすることで地域との連携、地域のPRにもつながります。

### 【概要】

- 放送枠** 金曜日 24:43~24:50 「HBC 天気予報」  
前番組が「NEWS23」、後番組が「Bravo!ファイターズ」
- 放送期間** 2026年1月~3月 1クール 全12回想定
- 本編尺** 1話あたり75秒
- SNS** 放送後、インスタ、Tiktok、Youtube ショートで展開
- HP** 放送後、アーカイブを格納  
※2次利用期間は放送後から3年間まで
- 制作著作** 北海道放送 (HBC)

# 協賛・CM提供を募集しています！

資料4-2

協賛・CM提供を希望される団体・企業様におかれましては、別紙「協賛申込書」にてお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

## 申込み・お問合せ先

北保証サービス株式会社  
TEL:011-241-8654 FAX:011-222-6601  
E-mail:khs@hokkaido-cs.co.jp

※協賛申込書は以下からダウンロードできます。

【HPアドレス】

<https://sites.google.com/view/ci-consortium/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0?authuser=1>

## 振込先

北洋銀行本店 普通 7305943 北保証サービス株式会社

## 協賛枠

プラチナスポンサー (1 □ 100万円)  
ゴールドスポンサー (1 □ 50万円)  
シルバースポンサー (1 □ 10万円)  
ブロンズスポンサー (1 □ 1万円)

※複数口の申込みも可能です。

※プラチナとゴールドスポンサーの場合、ご希望に応じて番組の最初と最後に企業名を掲載します。(予定)

## CM枠

CM提供 (1回あたり:15秒25万円)  
CM提供 (1回あたり:30秒50万円)

※CM用の動画をお持ちでない場合は、動画の制作をお手伝いいたしますので、お気軽にお問い合わせください。なお、CM制作費につきましては、別途ご負担いただきますので、あらかじめご了承ください。

## 建設業界紙以外の報道関係・メディアの方のお問合せ先

株式会社ピーアールセンター  
TEL:011-222-5555 FAX:011-261-6428  
E-mail:info.press@prc.ne.jp

惚れちゃうほどに、カッコイイ仲間たちがいる。

HBC

資料4-2

# はれのしごと

HARE N ● SHIGOT ●

2026

1.9 <sup>FRI</sup> START

毎週金曜 深夜0:43 → 0:48

「HBC天気予報」内

ここが、  
おれたちの晴れ舞台。



企画 ピーアールセンター /制作協力 フラッグ /制作著作 HBC北海道放送  
協力 札幌市

## 北海道の建設現場が舞台！！ 業界初!?!の~~タテ~~型ショートドラマ！

放送済みの回を  
SNSで好評配信中！

CIC公式Youtubeチャンネルはこちら👉



何が業界初？

- 💡 タテ型ドラマをヨコ型テレビで放送！テレビ業界初（？）「天気予報」番組内でドラマを放送します！
- 💡 北海道の建設業界の魅力を発信する新媒体「CIC」が発足！第一弾事業としてドラマに特別協賛！

はれのしごと

HARE N ● SHIGOT ●

今ここにはない未来を創造する。



## 令和7年度の都市局の新たな取組（建設産業の担い手確保に向けた、機械設備の魅力発信）

## 1 機械設備課出前授業

## (1) 目的

普段あまり目にしない建築設備の重要性と改修工事の意義を理解してもらうこと。

## (2) 授業プログラム

- ① 「機械設備」って何？
  - ② なぜ今、学校で改修工事が必要なのか？
  - ③ 実物の配管を触ってみよう
  - ④ 水の流れを追ってみよう
  - ⑤ 実験（排水トラップの役割など）
- ※ 啓蒙品(ロゴ入り軍手、パンフレット)を配布



## (3) 参加児童（計700名）

	実施日	参加児童
西岡北小学校	10/15	6年生 50名
新陵小学校	10/31	5・6年生 125名
元町小学校	11/27	5・6年生 154名
藻岩小学校	12/19	1～6年生 371名

## (4) 児童・学校からの反応等

## ① 児童から

- ・今、学校で工事をしているのは分かってはいたけれど、どんな工事をしているのかはあまり知らなかったのので、すごく勉強になり、改めて工事をしてくれてありがたいと思った。
- ・トイレを変えるという工事で、発注する人、トイレを取り付ける人など、様々な人が関わっていて、私たちのあたりまえを支えてくれているんだと思った。

## ② 学校から

- ・実際に改修工事をしており、学校の変化に児童も関心を寄せている中で、なぜ工事が必要なのかという課題に向き合えたことは、児童にとって強烈な印象として残るだけでなく、確かな学びにつながった。
- ・建設業という職業は、児童にとっては身近に感じることの難しい職業である。子どもは自分の経験や体験を土台として成長していくため、実物や模型を使っての実験等の「本物に触れる学習」は、児童の発達段階において最適な学びになった。出前授業後に、工事している業者さんに感謝を伝えに行った児童もいた。

## ③ その他

- ・北海道建設新聞掲載(10/16)『「当たり前」支える業務に気づき』
- ・北海道建設新聞掲載(12/24)『改修魅せる出前授業、26年度も』



## 2 建設業学習体験会

### (1) 目的

建物がどのように造られていくのかを職業体験してもらうこと。なお、中学生を対象とし、小人数により実施した。

### (2) 体験プログラム（4日間）

- ① ガイダンス
- ② 図面と模型作成体験
- ③ 平面図や立面図の作成体験
- ④ 3DCADでの図面作成体験
- ⑤ 建設現場見学

### (3) 参加生徒

真駒内中学校2年生 2名

### (4) 生徒・学校からの反応等

#### ① 生徒から

- ・ 建物を造るために色々な人が関わっていて、色んな作業があることを知った。
- ・ CAD操作は難しかったが、平面で書いたものを3Dに変換して、現場の納まり等を机上で確認しているのはすごいと思った。
- ・ 建物を造る裏側を知れて楽しかった。

#### ② 学校から

- ・ 生徒にとって貴重な経験の場になって有難かった。
- ・ あまり馴染みのない建設業について知り、進路の参考になったと思う。

#### ③ その他

- ・ 北海道建設新聞掲載(10/28)『真駒内中生徒に体験学習（義務教育学校の現場で）』



## 3 総括・来年度に向けて

出前授業及び学習体験会のいずれも、子ども達にとって建設業について学ぶ貴重な機会となり、建設業に対する興味に繋がったものと考えている。来年度以降も、これらの取組は継続し、将来における担い手不足の解消に向けて取り組んでいく予定。

## 工事書類簡素化要領（営繕工事） 改定概要

資料5-2

- 「工事書類簡素化要領（営繕工事）」の別紙「簡素化書類一覧表（営繕工事）」を全面改定  
→受注者からの意見や、札幌市土木工事や国の動向を踏まえ、書類の電子化に対応するとともに、より一層の書類の簡素化を推進
- 各書類の簡素化に取り組む上での補足事項や具体的な取扱いに関する質問・回答をまとめた「Q&A」を新たに作成  
→具体的な取扱いを明示し、発注者・受注者間の円滑な運用と認識の共有を図る

### 【改定の概要】

#### ①押印の廃止

「年月日+氏名」の記入により、一覧表の全ての書類への押印は廃止 → **電子データでのやり取りを後押しし、ペーパーレス化を推進します。**

#### ②電子データによる書類の提出、検査の実施方法

一覧表全ての書類について電子データによる提出を可とし、紙と電子データの二重提出は求めない。 → **検査時も紙への印刷は不要です。**

#### ③作成書類の簡素化等の一例

○材料・機器の搬入記録	・搬入状況がわかる写真があれば、記録簿の作成は不要
○産業廃棄物管理票 （マニフェスト）	・計量伝票およびマニフェストは提示とし、写しの提出は不要 ・電子マニフェストの場合は一覧表の提示のみ
○材料、機器の品質等を 証明する資料	・JIS規格やメーカー品番等が確認できる <u>工事写真</u> と、機器については加えて仕様がわかる <u>カタログ</u> や <u>納入仕様書の提出により省略</u> ※骨材、コンクリート、木材の合法性証明など、一部の資料は除く。
○出荷証明書	・木材、合板等以外は不要
○安全書類	・新規入場、危険予知活動、災害防止協議会等の <u>実施記録</u> は、 <u>検査員による確認は原則行わない</u> ※ ※検査の状況によって提示を求める場合があります。 ・ <u>安全データシート（SDS）</u> は、作業者への周知状況が工事写真などで確認できれば計画書への添付は不要
○工事写真	・ <u>材料、機器の搬入状況</u> は、 <u>主要材料・主要機器</u> 以外は抽出で可 ・ <u>同一内容の施工状況</u> は、 <u>簡略化可</u> （簡略化した箇所は品質管理記録等で確認） ・ <u>建設副産物等</u> は、 <u>受入施設の写真</u> は不要（マニフェスト等で確認） 同一種類の写真是省略可能

#### 【留意事項】

本要領は一般的な営繕工事の簡素化の考え方を示しているものです。

内容は工事発注部署により異なりますので、受注した工事ごとに工事監督員と事前に協議を行い、書類の簡素化を図ってください。



助  
け  
て  
い  
る

建  
設  
業  
を

業  
界  
未  
経  
験  
者  
も

力仕事だけじゃない！  
建設現場支援事務  
紹介パンフレット



建設現場支援事務

気になる人は

さっぽろけんせつガイド  を検索!

動画等で建設業の仕事紹介も見れます！  
または求人票で「建設会社」「事務」を検索！

現場支援事務が気になる人は

建設ディレクター協会  もチェック!



※画像は参考です  
※構成等も検討段階となっております

## はじめに

～仕事紹介の前にまず知ってほしいこと～

よくある  
イメージ

「建設業」  
||  
「力仕事」

知って  
ほしいこと

建設業は力仕事だけ  
では完成しません。

「建設業」は沢山の人の生活を支える「誇れる仕事」ですが、  
作業員、重機オペレーター、職人、現場監督…といった様々な人達が数十人、  
時には数千人で力を合わせ、安全や品質に気を配りつつ、1つの現場を完成させる仕事。

そのため現場をまとめる監督は現場管理、検査、書類作成と色々な仕事をしています

そこで、現場監督等をサポートする職域として「現場支援の仕事」が出来てきました。

つまり…「建設業における現場支援の仕事」は  
沢山の人の生活を支える「建設業」を助ける重要な仕事です  
そして、業界未経験の方や学校で建設業を学んでこなかった方もたくさん建設業界で働いています

資格が  
なくても  
始められ  
ます!

## 仕事内容

最初から急に難しいことは要求されません!

### 1 年目の 業務例

現場を完成させる上で必要な「工事書類の作成・整理」

- ◆ 現場における見積書、納品書、請求書の作成、整理
- ◆ 現場の注意点等、安全管理書類の作成補助、整理
- ◆ 施工状況・出来形確認等の工事写真の準備、整理 など

現場を管理する上で

必要な「現場管理ソフト」の初期設定

基本的なExcel等が操作できればOK!



### 2 年目 以降等

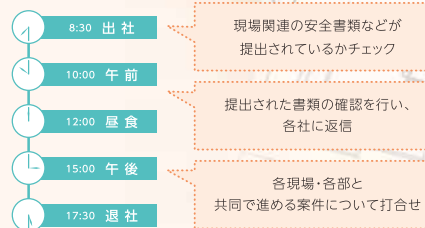
業務経験が増えると…?

- ◆ 業務内容自体は変わらないことが多い
- ◆ 経験や知識に応じてサポートする書類が変わっていきます!

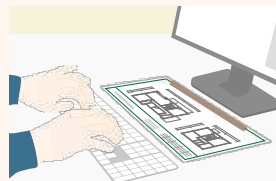


※出来形確認…工事が予定どおり完成しているか、高さ・長さ等を計測して確認すること

## 1日の流れ(例)



## 労働環境(休暇・仕事場所など)



### 休暇・勤務時間

- ◆ 週休2日、8時半～17時半が多い
- ◆ 相談の上だが、柔軟に有休取得している

### 仕事場所

- ◆ オフィス勤務(内勤)が多い  
(●写真撮影や現地で説明する場合などは現場へ)

## 事務職×建設業

よくあるQ&A



次ページからは業界未経験から働いている先輩の声をお届けします ▶▶▶

## 業界未経験から働いている先輩の声

**voice 先輩の声 1**

**前職** 接客業、人材派遣業など

**卒業** プライダル専門学校

株式会社田中組 石井さん

**Q1. この仕事を選んだ理由は?**

A. どんな仕事をするのか派遣会社の方に詳しく聞いて、最初から難しいことを要求されないと思ったこと、働く場所になる現場事務所の中を見ることが出来て、意外と結構きれいだったし、トイレも水洗で冷暖房もしっかりしていたのもありました。

**Q2. どんな仕事をしていますか?また、やりがいは?**

A. 協力会社からの提出書類チェック、現場管理ソフトを活用した入力・管理業務等を行っています。支援業務を続けた結果、以前の現場での「何を頼んだら良いのか?」という状態から、「こういうことも頼んでいい?」と相談してくれることが増え、やってきたことが少しずつ身になっていくことにやりがいを感じています。

**Q3. 今後のステップアップは?**

A. 今後は、長く現場事務員として働いている書類関係のプロフェッショナルな方がいて、非常に現場の力になっているので、将来的にはその方のようになりたいと思っています。

**最初から難しいことは要求されない!**

**voice 先輩の声 2**

**前職** 印刷業、接客業、派遣会社など

**卒業** 電子印刷科

株式会社田中組 吉田さん

**Q1. この仕事を選んだ理由は?**

A. 元々派遣として、この会社の広報業務に携わっていましたが、正写真として働く条件などを考慮した上で、動画編集等も含め、色々働きながら学べる面もあるということで決めました。

**Q2. どんな仕事をしていますか?また、やりがいは?**

A. 工事現場の掲示物・工事看板等のデザイン、SNSの動画編集などが主な仕事です。私はデザインというところで特殊だと思いましたが、工事看板などが成果物として現場事務所や工事現場等にデザインした実物があると、素直にすごいと感激しています。

**Q3. 今後のステップアップは?**

A. これからデザインしていく上でも絶対現場のことを知っておいたほうが良いだろうと思って、上司に相談して、現在は現場事務所で書類補助をしながら、勉強させてもらっています。デザインももちろんやっていきますけど、せっかく建設という全然違う業界に入ってきたからには、違うことも学びたいなと思っています。

**入ってみると、もっと知りたくなりました!**

**voice 先輩の声 3**

**前職** 銀行系・派遣会社など

**卒業** 商学科

丸藤建設株式会社 郡さん

**Q1. この仕事を選んだ理由は?**

A. 建設業は今後も変化・発展のある魅力的な業界であり、現場支援業務は自分の経験も活かしながら新しいことにも挑戦できるのではないかと考えたからです。

**Q2. どんな仕事をしていますか?また、やりがいは?**

A. 工事写真管理ソフトで、撮影前の事前準備や撮影後の写真整理を担当しています。また月報の作成、簡易な図面修正や除工計画書作成支援等を行っています。担当した業務が現場で活用されているのが実感できると、取り組んで良かったと思います。また、リピーターのように2回目以降も依頼してもらえるとやりがいに繋がります。

**Q3. 今後のステップアップは?**

A. 担当業務の幅を広げていくことが目先の目標です。業務をより効率化出来ないか開拓していく部署でもあるため、現場業務の削減や人手不足に対して何をしていけるかを見つけていければと思っています。

**建設業は今後も変化・発展のある魅力的な業界!**

**voice 先輩の声 4**

**前職** 有料老人ホームなど

**卒業** 普通科高校

板土建設株式会社 安宅さん

**Q1. この仕事を選んだ理由は?**

A. 怖い人しかいないイメージもありましたが、職場を見学した際に、怖い見た目の人も中身は違っていたり、全然普通の人がたくさんいることもあり、やっていけそうだなと思いました。

**Q2. どんな仕事をしていますか?また、やりがいは?**

A. 見積書・注文書・請求書の作成、工事集計書の整理、電子マニフェスト関係、グリーンサイト(労務・安全衛生管理の書類)関係を担当しています。異業種から転職して何もわからない状態からのスタートでしたが、仕事の流れを掴んできた頃もっと効率良く出来ないか試行錯誤して上手く出来た時や、会社で推奨されている資格を取れた時は嬉しいと感じました。

**Q3. 今後のステップアップは?**

A. 今は上の年齢の方と若い年齢の方が多く中間の年齢層の方が少なくて、世代交代の時期に来ていると思います。そこで、技術継承などの課題へ現場の方々の方がより集中できるように、現場管理等の負担をなるべく減らせたいと考えています。難しいとは思いますが、例えば電子化を導入していくなど、何かしら推進していければと思っています。

**全然普通の人がたくさんいる!**

## 業界未経験から働いている先輩の声

先輩の声 5 **卒業** 商学科  
伊藤組土木株式会社 安藤さん

大きいものを造る父のカッコ良さから就職を考え始めました!

### Q1. この仕事を選んだ理由は?

- A. 父の影響から、大きなものを造るのはすごいなと思っていました。大学で就職先を色々検討していく中でインフラ系に魅力を感じたため、建設業界を選びました。

### Q2. どんな仕事をしていますか?また、やりがいは?

- A. 現場支援業務と事務系業務の2種類があり、主に現場支援業務を担当しています。現在は、実際に現場へ行って施工状況等の写真撮影とその整理をしています。現在は現場支援の一環として施工状況等の写真撮影をしていますが、協力会社さんとの意思疎通や段取りがどんどんスムーズになっていくことに今1番やりがいを感じていて、現場に行くのも楽しくなっています。

### Q3. 今後のステップアップは?

- A. 今は建築の現場が多いですが、父が土木で働いていたこともあるので、建築と土木の両方の現場を経験し、共通する部分や異なる部分を整理して、業務の効率化を図ってみたいです。

先輩の声 6 **卒業** 情報システム科  
勇健建設株式会社 竹内さん

入ってから学び、わからないことをすぐに聞くのが重要!

### Q1. この仕事を選んだ理由は?

- A. 面接前に「良かったら1週間程度のインターンに来て、会社を見てみたいか?」と誘われ、色々見学してみると、思ったよりも全然良く、年の近い先輩がいて色々話を聞いたこともあって、決めました。

### Q2. どんな仕事をしていますか?また、やりがいは?

- A. 施工管理の内、現場測量や安全管理・出来形・品質管理関係の書類作成をしています。やりがいは違うかもしれませんが現場が完成した時、事故がないことにまずホッとします。

### Q3. 今後のステップアップは?

- A. 会社で資格取得の支援もしてくれますので、資格を取って現場代理人になるのが目標です。また今後は自分と同じように学歴関係なく入社して来るかもしれない後輩へしっかりと教えていけるようにしていきたいですね。

先輩の声 7 **前職** 自衛隊など **卒業** 体育学科  
岩田地崎建設株式会社 阿部さん

「小さい頃の好き」から始めて「使う人の笑顔」に感動!

### Q1. この仕事を選んだ理由は?

- A. 自衛隊へ入隊して2年半経った26歳くらいの時、このまま今の職種で本当に良いのか考え、小さい頃は部屋間取り図とかを書くことが好きだったことを思い出し、建物を作る関係で働きたいという思いを抱きました。ちょうど今の会社で未経験者の募集の話があったので、一度面接をさせていただけませんかと会社に問い合わせをしました。

### Q2. どんな仕事をしていますか?また、やりがいは?

- A. 今の仕事は施工管理の一環として、現場の資材等の搬入調整や各作業エリアの作業間調整などを行っています。やりがいはいくつもありますが、例えば、病院完成時のお客様への引き渡しで、看護婦さん達が完成内覧会で見学をされた際に、皆さん笑顔で新築の建物を見て回っている姿を見て、建物を作るのっていいなと思いました。

### Q3. 今後のステップアップは?

- A. 同期に追いつけるようレベルアップしながら、いずれは現場所長をやり、会社に貢献していきたいです。

先輩の声 8 **前職** カフェ・児童会館など **卒業** 英文科  
スミセキ・コンテック株式会社 寺口さん

今までの仕事や経験とリンクする瞬間がある!

### Q1. この仕事を選んだ理由は?

- A. 1番の理由は、土日祝休みで育児などもあり、長く働けると思ったからです。

### Q2. どんな仕事をしていますか?また、やりがいは?

- A. 領収書、納品書の整理。施工計画書の内、施工方法や工程表以外の作成補助。現在では、施工体制台帳や竣工書類の整理・添削、簡単なCAD操作(図面データ修正)も始めています。工事に伴う社会貢献活動として、地域の子どもや家族など多くの人が利用する「子ども食堂」への支援活動を行い、利用者等から感謝の声をいただきました。今までの自分の仕事や経験とリンクした瞬間でもあり、やりがいを感しました。

### Q3. 今後のステップアップは?

- A. 未経験である分、これからどんなことが出来るようになるか模索していきたいです。また色々な現場に顔を出していくと、自然と各現場を比較して、業務改善のアイデアが浮かぶこともあるので、少しでも現場が楽になる提案が出来れば良いと思います。